

----- 平成 26 年 7 月 25 日追加 質疑応答 -----

信州大学先鋭領域融合研究群 WEB サイト及びパンフレット類制作業務 質問事項に対する回答

平成 26 年 7 月 25 日

信州大学広報室

以下は、7 月 16 日(水)に行われました説明会に対して、後日寄せられた質問事項へ回答いたします。

Q<1>WEB サイト制作に関しまして、日本語版サイトとは別に英語版サイトの制作も含まれておりますでしょうか。例えば同一デザインで「JAPANESE」「ENGLISH」ボタンで切り替わるサイトです。

A<1> 「公募要領」の「3.業務の内容」に記載いたしましたとおり、英語版サイトの制作も含まれます。

Q<2>WEB サイト制作につきまして、Movable Type6 が入った制作環境は信州大学様側で用意していただけますか。

A<2> 信州大学の公式WEBサーバに既にセットアップされており、それをお使いいただけます。

Q<3> WEB サイトについて、

- (1) 研究所のサイト内におけるコンテンツですが、部門紹介、部門長・専任教員・招聘研究者はすべてまとめて 1P(部門ごと)というイメージでよろしいでしょうか。
- (2) 各部門の大体の人数や変更頻度など教えていただけますでしょうか。
- (3) 研究群のページを<ランディングページ>としておりますが、<研究所の総合トップ>的な立ち位置、役割という認識でよろしいでしょうか。
- (4) <研究群の総合トップ>のトピックスは既存の研究所2サイトとのトピックス連携が必須でしょうか。
- (5) 研究所のトピックス連携とは別に研究群独自の配信はございますでしょうか。
- (6) 各研究所で、月にどれくらいの量のトピックスを作る予定でしょうか。
- (7) スペシャルコンテンツは現状どのようなものをお考えでしょうか。
- (8) 公募要領の業務の内容の3に、それぞれパッケージ化する考えでと記載されておりますが、このパッケージ化とはどのようなイメージをされておりますでしょうか。
- (9) 仕様書(別紙1)にデザインコンセプトは世界に誇る研究領域であること、研究群及び研究所の関係性がわかりやすいことなどを意識し、と記載されておりますが、研究群及び研究所の関係性についての資料や情報などが、信大 NOW no.87 以外にございましたら URL などでもいただきたいのですが可能でしょうか。

A<3> (1)ご提案いただく構造設計次第、ということになります。

- (2) 専任教員はおおよそ1部門2名～7名でお考えください。変更頻度はさほど高くありません。
- (3) 構造ではありませんが、意味合いは研究所のトップ的な立ち位置というご認識で結構です。
- (4) 既存の2研究所サイトのトピックスを掲載する場合はURLをメールで送るなどして行う予定です。よって必須ではありません。
- (5) 研究群独自の配信もあると想定しています。
- (6) 研究所ごとに異なりますので、一概に本数はわかりません。
- (7) グローバルメニューのひとつとして用意したメニューにつき、用途は研究所で異なります。企画としてスペシャルコンテンツもある、ということです。企画ご提案をお待ちしております。
- (8) 研究所ごとにWEB・パンフそれぞれが完全オリジナルの企画・設計・デザインでなくて良い、という意味で考えております。
- (9) 研究群と研究所の関係は、信州大学 HP「信州大学の大学改革」に掲載されております。下記 HP をご参照ください。「信州大学の大学改革」⇒ <http://www.shinshu-u.ac.jp/reform/>

Q<4>パンフレットについて、

- (1) 仕様書別紙1に【環境省の定める環境物品等の調達に関する基本方針に基づき、基準の総合評価値が80以上であり、「20-2印刷」の各項目を満たしていること(証明書要)。】と記載がございますが、サンプルでいただいたフォルダの色が真っ白で、サンプルと環境省の条件を満たす紙が見つかっておりません。もし可能でしたらフォルダの紙のメーカーと品名を教えてくださいませんか。
- (2) 公募要領にございました⑩パンフレット類の制作に係る物品及び役務の特性を証明する書類ですが、仕様書(別紙1)の※(1)(2)は環境省の定める環境物品等の調達に関する基本方針に基づき、基準の総合評価値が80以上であり、「20-2印刷」の各項目を満たしていること(証明書要)。という別紙に記載されていた証明書という認識でよろしいでしょうか。

A<4>

- (1) サンプルでお渡ししたフォルダは、ボンアイポリリー菊判 18.5kg(使用時サイズ:305×220mm)、マットPP貼加工のものとなります。ただし、本件につきましては、環境省の条件を満たしている紙であることが必須条件となります。必ずしもサンプルと同一の紙でなければならないということではありません。
- (2) そのとおりです。

Q<5>翻訳について、

- (1) 既にウェブサイトが制作されている2研究所は翻訳が必要でしょうか。
- (2) 翻訳のボリュームで出てくる1500文字は日本語でよろしいでしょうか。

A<5>

- (1) WEBサイト用は不要ですが、パンフレット用は必要です。
- (2) 日本語の文字数として提示させていただきました。

Q<6>研究者総覧(<http://www.shinshu-u.ac.jp/soar/>)は同一MTで管理されておりますでしょうか。同一MTで管理している場合、受注後に研究所サイトへ情報を読み込ませることが可能か構造を確認させていただくことは可能でしょうか。

A<6>

同一のシステムでは管理を行っておりません。

Q<7>パンフレットは、こういったシーンでの配布が予定されているのでしょうか。

A<7> 主として、国内外の研究者(企業の研究者含む)に配布することを考えています。具体的には、研究所で行うシンポジウムや協定締結校での配布、共同研究先への配布等が考えられます。

Q<8>パンフレットの更新はどの程度のスパンで考えているのでしょうか。

A<8> おおよそ1年ごとの更新を考えています。

Q<9>成果物として、パンフレットは現物をお渡しすることとなるかと存じますが、WEBサイトに関してはデータをお渡しするというところでよろしいでしょうか。

A<9> 別紙1「仕様書」【5】成果物にお示ししたとおりです。

Q<10>「先鋭領域融合研究群」等の部門名や研究所名等について、英訳に際しての固定名称がすでにあるのでしょうか。

A<10> 研究群・研究所の英文はすでにあります。部門についてはまだ用意してありません。個別名称については、制作会社決定後に一括してお渡しする予定です。

Q<11>ロゴの提供は信州大学様側からあるのでしょうか。また、ロゴの提案をさせていただくことは可能でしょうか。

A<11> ご提案いただくことは、もちろんかまいません。が、すでに国際ファイバー工学研究所が独自でロゴタイプ・シンボルマークは用意されています。

Q<12>WEBサイトの読者の対象は、国内外問わずと考えてよろしいでしょうか。例えば、国内向けにより重点を置いた方が良いのかどうかということです。

A<12> 国内外同様に重要、と考えております。

Q<13>ラフデザインの提出に用いる「国際ファイバー工学研究所」に関する情報は、どの資料を参考にすれば

よろしいでしょうか。

A<13>

大学概要、繊維学部のWEBサイトなどで研究領域をイメージしていただくしかない状況です。

Q<14>パンフレットのラフデザインは、最低限度、別紙(3-2)の3P・4P のデザインを提案すれば良いという認識でよろしいでしょうか。

A<14>「公募要領」(5)提出書類に記載の資料やデザインが最低限度必要です。以外にもご提案いただくことはもちろん歓迎いたします。

Q<15>パンフレットについてフォルダに関してのご提案も考えているのですが、フォルダの形はいただいたサンプルを基本にプラスで別の機能のご提案をさせていただくということでしょうか。それともパンフレットの格納という機能があれば形は全く別でも良いのでしょうか。

A<15> お渡ししたサンプルの構造を基本にお考えください。別の機能を追加提案いただくことについては、歓迎いたします。

Q<16>別紙5について、

(1)前書きの「繊維工学の基盤に始まり…目指します。」という文において、主語が明示されておられません。文脈より、主語は「(先鋭領域融合研究群)国際ファイバー工学研究所」と解釈いたしておりますがよろしいでしょうか。また、主語が上記のとおり「国際ファイバー工学研究所」である場合、定訳を調査いたしました但し判明いたしませんでしたので、定訳がございましたらご教示いただけますでしょうか。

(2)「ファッション情報工学」につきまして、調査いたしました但し英語の定訳が確認できませんでした。現状、“computer-aided fashion and textile assessments(情報技術を用いてファッションおよび繊維を評価する学問)”と訳出いたしておりますが、英語の定訳がございましたらご教示いただけますでしょうか。

A<16> 前書きの「繊維工学の基盤に始まり…目指します。」という文における主語は、「先鋭領域融合研究群国際ファイバー工学研究所」です。「先鋭領域融合研究群国際ファイバー工学研究所」の英訳は、Institute for Fiber Engineering, Interdisciplinary Cluster for Cutting Edge Research となります。なお、「ファッション情報工学」の定訳はございません。